



Nagoya GRAMPUS

名古屋グランパス ワイズメンズ クラブ

NAGOYA YMCA 35-16 DAIKANTYO HIGASIKU NAGOYA 460-0002 JAPAN

国際会長主題 「心新たに立ち上がろう」
 アジア会長主題 「心新たに立ち上がろう」
 西日本区理事主題 「飛翔たとう ワイズスピリットを胸に」
 中部部長主題 「ワイズはフェイス to フェイス！」
 クラブ会長主題 「グランパスの輪を広げよう！」

がんばれ日本 がんばるワイズ

2011年5月号

—＜今月の聖句＞—

神を愛する者たち、つまり、御計画に従って召された者たちには、万事が益となるように共に働くということを、わたしたちは知っています。

ローマの信徒への手紙 8章 28節

名古屋グランパスホームページ <http://www5.ocn.ne.jp/~ysmen/>

2011年5月例会ご案内

◎第一例会

と き : 5月3日(火) 4日(水)
 ところ : 名古屋Y日和田高原キャンプ場
 時 間 : 5月3日午後より
 ワークキャンプ

グランパスロッジの完成に向け作業を実施します。また、夕食はトレーニング中のリーダーと懇親を図ります。標高が高いため防寒対策は万全にお願いします。現地の夜は冬と思って対策願います。

◎第二例会

と き : 5月27日(金)
 ところ : 名古屋YMCA
 時 間 : 19:00~

◎地震被災地支援募金

と き : 5月7日(土) 15:00~17:00
 5月11日(水) 17:00~18:30
 集合場所 : 名古屋中央教会前
 募金場所 : 名古屋三越周辺

◎京都チャリティラン

と き : 5月22日(日)
 走者・サポーター募集中

◎西日本区大会

と き : 6月11日(土) 12日(日)
 場 所 : ウェスティン都ホテル京都
 京都市国際交流会館

4月例会	例 会 出 席 状 況				B F ポイント		クラブファンド（4月）	
	在 席 者	17 名	第 1 例 会	11 名	当 月 ・ 切 手		ニコ BOX ノート	
	例会出席者	11 名	第 2 例 会	9 名	当 月 ・ 現 金		感 謝 ファンド	
	当月出席率	64.7 %	そ の 他	9 名	累 計		累 計	

“TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT”
 =強い義務感を持つ。義務はすべての権利を伴う=

東日本大震災災害支援物資運搬報告



坂倉大輝

今回は父が深谷さんからこの支援物資運搬のボランティアのお話をいただいたのですが、都合が合わなかったため、それならばと立候補し参加させていただきました。



2011年4月19日から21日の間、2011年3月11日発生の地震及び津波において被害に遭われた方々を救援することを目的に日本聖公会として組織されたチームの一人として、被害地へ物資運搬を行った際の行動スケジュールおよび活動内容をここに報告します。

行動目的	東北教区にある現地対策本部への救援物資の運搬および現地対策本部から被災地避難所への救援物資の運搬、
行動期間	2011年4月19日（火）～21日（木）
運搬物資	日常生活物資（西日本各地より提供を受け、集積されたもの）
派遣要員	松本（名古屋聖ステパノ教会） 倉田 深谷（名古屋クラブ） 坂倉（名古屋グランパス） 計4名
利用運搬車	2台を使用

行動日別タイムテーブル

4月19日（1日目）

08:30 出発前 お祈り（渋澤主教による）後、
教区センター出発

11:00 1次休憩

13:30 2次休憩 昼食 給油（海老名SA）

18:30 3次休憩 給油（大谷SA）

21:30 コンフォートホテル天童（山形）に 到着
夕食 就寝



行動初日、この日の行動目標は東北までの距離が長いこともあり現地入りはせず、ベースとなるホテルへいくことだけになっていた。運搬物資の積み込みは前日すでに完了していたため、チームメンバーがそろい次第出発前のお祈りをし、ホテルのある山形県の天童市へ向かう運びとなった。

移動中使用車両に対するガソリン給油は高速道路で行い被災地での補給は避ける方針もあって給油は早め早めに行われた。道中地震警戒のためか東北区画においては最大50km/hの制限区画が多くあり、高速道路のひび割れを補修した跡や段差注意の看板や電光掲示が見受けられた。

また、天候には恵まれず途中より降っていた雨が、山形蔵王を越える前後で雪に変わったためチーム車両は慎重を期した運転を強いられた。

4月20日（2日目）

07:00 朝食

08:00 コンフォートホテル天童を出発

09:00 ナザレ修道院(仙台)に到着
 10:30 東京、京都、仙台のボランティアメンバーと合流し運搬した物資の積み下ろしと避難所へ向けた物資(お米)の積み込みを行なう
 11:00 管区 宣教主事 中村司祭を同行に迎えナザレ修道院を出発 南三陸(宮城)の避難所へ
 12:00 南三陸町静川避難所へ到着 物資搬入後、石巻へ向けて出発
 13:00 石巻に到着 石巻周辺の被災地の様子を見て回る
 16:00 仙台市に向けて出発
 17:00 ナザレ修道院にて同行していた中村司祭を降ろし、約束のある仙台市市民生活支援センターへ移動
 17:30 仙台市市民生活支援センターに到着
 17:45 仙台市市民生活支援センターにて、聖ヨハネの団体いきいきサロンよりの支援金をセカンドハーベスト仙台へ届ける
 18:30 ホテルへ向けて帰路に着く
 20:30 ホテルに到着 夕食 就寝



2日目、行動目標としてはメインともいうことができる一日。タイムテーブルの通りまずは名古屋より運搬していた物資をナザレ修道院へと届けることとなった。

道中町の様子を見るもぱっと見では住民の方々は通常の生活を営んでいるように見え、地震の影響も余り残っていないように感じた。道の混雑もなく、予定していたよりも早くに修道院へと到着したため、他のボランティアメンバーとの合流を待って作業を開始した。合流を待つ間、修道院の様子を見せていただいたが、地震によって外壁にひびが入った部分も見受けられるなど移動中にはわからなかった地震の影響を感じられた。

合流後作業は滞りなく終了し、改めて米を積みなおし中村司祭を同行者に加えたチームは南三陸の避難所へ向けて出発した。移動中、道路の補修跡や瓦の落ちた屋根、自衛隊の特殊車両等を見かけるこ

とが多くなってしばらくして津波の被害を多く受けた地域へと到着。被災地域に入っすぐに被災者、行方不明者のために祈りをささげた(中村司祭による)。被災地の様子は今までの生活を残していた地域とは一変し、一見するとどこか別の場所からも集めたかに思われるが、ただ流されたままの状態が残るがれきの山や、水害特有の独特のにおい、その中で捜索を続ける自衛隊の方々、そういった独特の空気感の混じった様子を感じつつ静川避難所へ向かった。

避難所へ到着したのち避難所の裏手にある物資の集積所にて運搬した米を避難所のスタッフの方々と協力して荷降ろしし、その後避難所の様子をうかがった後にチームは石巻の被災地に向かった。

石巻では津波の被害を受けた小学校や中学校、病院などを巡りその被害の悲惨さを確かめた。

夕方になってチームは仙台に戻り、中村司祭と別れて仙台市市民生活支援センターへと向かい聖ヨハネの団体いきいきサロンよりの支援金をセカンドハーベスト仙台へ届けた。この時大きな聖堂の近くへと出向いたのだが地震の影響で内部が大きな被害を受けており立ち入りできない状態であることを聞いてここでも地震の影響について考えさせられた。

その後チームは天童市のホテルへ帰路に着いた。この日は天候としては昼夜一環として降っても小雨がちらつく程度であり行動に影響を受けることはなかった。



4月21日(3日目)

07:30 朝食
 08:20 コンフォートホテル天童出発
 11:00 1次休憩 (那須高原SA)
 14:30 2次休憩 昼食 給油 (海老名SA)
 17:30 3次休憩 給油 (浜名湖SA)
 19:30 教区センターに到着 お祈り
 20:00 解散

三日目は初日同様ただ名古屋への移動のみを行動目標として行った。使用車に積んでいた物資を降ろし、軽くなった車体での帰路は往路より短い時間で移動が完了した。この日の天候は三日間のうちでもっともよく、交通に影響は受けなかった。

所 感

この度は、物資運搬のボランティアに参加させていただきありがとうございました。このボランティアに参加し、実際に被災地を知ったことはとても良い経験になりました。

南三陸や石巻の被災地では情景を文書としては打ち出すことはできても、それに関してどういった感想を述べればよいのか、まだにつかみかねています。「どう表現したらよいかわからない」ということが一番の感想なのかもしれません。この経験を経て今までよりさらに被災地の方々に対して何ができるのだろうか考えるようになりました。

そして現地の様子をより多くの人が実際に目にすることが必要ではないかと感じます。というのも、被災地においてはテレビなどの媒体で見ると現地の様子はひどいものであると感じる場面が多くあったからです。僕自身、被災の跡と生活をおわせる跡の混在や現地の雰囲気は実際に足を運ばなければわからないものだ実感しました。

今後の復興にはより多くの人の協力やその継続が大事であると思います。それを知る機会を持てたことに感謝するとともに、同様のことを多くの人が感じてくださり復興の支援に向けた活動に、少しずつ個々人のできる範囲のことでよいので協力してくださる意思を持ってくださることに期待し、また祈りたいと思います。

簡単ではありますがこれをもって所感とさせていただきます。



第 一 例 会 報 告



日 時: 2011年4月2日(土)19:00～

場 所: 名古屋 YMCA

出席者: 阿部、荒川、坂倉、坂口、佐藤、下村、高田
坂本、坂野、早川、服部、松原、三井

山岸先生を迎えて

早川政人

4月の第一例会に 名古屋 YMCA で英語の教室を開かれている山岸先生に名古屋 YMCA のこれまでのよもやま話を、肩のこらないお話をさせていただきました。名古屋 YMCA の上前津での懐かしい英語教室等 YMCA が必要とされ且つ賑やかに、社会の重要な位置にあり、若いいろいろな人との交わりと出会いに貢献をした時代、山岸先生は英語を通じて良い経験をさせていただいたと感謝をされ、又 YMCA を非常に愛し世界・全国の大切な友人を得たと話されました。

今でも名古屋 YMCA で教室を持たれて、英語を教えていらっしゃると思います。これが若さの秘訣ではないかと思いました。ますますの活躍とご健康を願っています。



いつまでも若さを保っておられる山岸先生

第二例会報告

日時: 2011年4月22日(金)19:00～

場所: 名古屋YMCA

出席者: 荒川、坂倉、坂口、坂本、高田、服部、早川
三井

議事事項

- 1、京都東稜クラブ泊懇親旅行について
- 2、5月第一例会について
- 3、ボランティアネットワーク立ち上げについて
- 4、西日本区大会参加について
- 5、東日本大震災支援グッズについて
- 6、東日本大震災クラブ支援活動記録について
- 7、一泊例会について
- 8、今後のワイズ、YMCAの行事予定

ひとつの盛り上がり(元気)が感じられないため、もう少し時間が必要なのかもしれません。グランパスメンバーが多数参加する西日本区大会での再会に期待します。



クラブ交流会報告



日時: 2011年4月23日(土)24日(日)

場所: グリーンパーク山東

出席者: 荒川、坂倉

京都東稜クラブの一泊例会に坂倉会長とともに参加しました。会場となった米原市の「グリーンパーク山東」は京都と名古屋のほぼ中間地点で正に両クラブ懇親の場として最適と思われましたが、グランパスからの参加者が少なかったのが残念です。ただ当日は春とはいえ、風雨強く気温も低く、屋外のバーベキュー会場は急遽ブルーシートで風雨よけを施し、膝を寄せ合っての懇親ができました。

年齢構成もグランパスに近い東稜クラブですが、次期会長の近藤ワイズは40代と若く着実に世代交代が行われていると感じました。最近のグランパスはコメットよりもマゴメット参加が増えつつあります。いらんお節介かもしれませんが、どんどんコメットを増やしたいものです。

DBC締結も話題に上りましたが、今西日本区大会での好機会を東稜クラブの面々は望んでおられ、下地も出来ている模様ですが、グランパス側にいま

名古屋クラブメネット会 50周年記念例会



服部庄三

4月12日(火) レストラン「ルピナス」に於いて開催されました。西日本区からも坂本メネット事業主任、仁科区理事メネットほか多数が参加され、会場一杯での盛会となりました。グランパスからも坂倉会長、服部、早川メネット、荒川メネット、松原メネット、服部メネットの5名が参加しました。50年の歴史を感じる式典と楽しい余興もあり、長年培われた経験と結束を感じるすばらしい会となりました。改めて名古屋クラブメネットの皆様「おめでとうございます！」

「震災支援ボランティアネットワーク 立ち上げ会」

服部庄三

4月16日(土) 17時より名古屋YMCAにて、今回の東日本大震災支援への協力、参加、情報共有を目的としての、ネットワーク立ち上げの会が開催されました。名古屋インタークラブメンバーを中心に

に、40名近くの関係者が参加しました。

まずフリージャーナリストの関口威人氏から悲惨な現状、次に日本基督教団兵庫教区の柴田信也氏から、神戸震災の経験を踏まえての今回の東北支援の現状の報告がありました。

次に阪神淡路大震災に現地支援に参加した、元インターアクト会長山田梓生さんと、今回仙台で1週間の支援活動を行なった名古屋YM職員遠藤キョメリーダーのそれぞれの経験報告が話されました。いずれもマスコミで悲惨な状況が報道されているが、加えて被災者の心のケアの大切さをアピールされました。またボランティア支援活動も秩序と、現地との連携が大切だと話されました。



後半はグループに分かれ、今後われわれがしなければならない支援は何か、について話し合いました。現地への参加がなかなか難しいわれわれワイズは、まず派遣する若い人たちの後方支援と、そのための募金活動に参加協力することが第1歩だと思います。

なお、当日の様子は東海テレビのニュース、中日新聞の市民版にて報道されました。

春の根の上まつり

日 時: 2011年4月29日(祝金)

場 所: 名古屋YMCA根の上キャンプ場

出席者: 坂口、信田、松原、&松原メ

坂口功祐

春秋2回恒例となりました野外パーティーが名古屋YMCA根ノ上キャンプ場で行われました。わがクラブからは坂口、信田、松原ファミリー参加で今年も昔このキャンプ場で青春時代をすごした方やY

につどうファミリーの皆さん40名ほどが集まって恒例のバーベキューパーティーを行いました。



メニューは牛肉8kg、焼そば15人前、ソーセージ、筍飯、豆飯、美人鍋とサンチェとキムチは大人気



です。回していないと落ちこちます。約3時間掛けては回し、遠火にて回しながらゆっくり焼きます。これを



でアッと言う間になくなり、そして本日のスペシャルメニューバーンクーヘンを手焼きにてこの様に丸木にスペシャルな生地を掛けていきます。回してないと落ちこちます。約3時間掛けては回し、遠火にて回しながらゆっくり焼きます。これを何十回と繰り返し繰り返しゆっくり焼きます。出来ました。ちゃんと年輪出来ました。お味は少し焦しくさいがソフトで美味しい。皆さん大

喜び大成功、でも2度とやりません。もう一つお子様から老人まで大人気。チョコレートフォンデュー。ワイワイしてました。



これは簡単。お腹がいっぱいになると皆さんでフォークソング大会。いつまでもお若いゆっくりした時間が流れた1日で

した。また秋に。



西日本区準備役員会



日 時: 2011年4月9日(土)ー10日(日)

場 所: ホテルクライトン大阪

出席者: 荒川

荒川恭次

次期西日本区準備役員会に、オブザーバーとして次々期成瀬キャビネットメンバーが参加しました。

YMCA 便り

今年度は、「ユース」を全ての事業や活動の切り口にしようという意図をもって進めています。

“震災支援 YMCA ボランティアネットワーク”など、まさにユースから湧き起こったパワーの産物だと思います。スタッフにおいても、仙台に行ったのは20代の女性スタッフでしたし、次の派遣候補も別の20代の女性が予定されています。まさに「ユース」と「女性」がキーワードです。

一方、我々ワイズメンはその裏返しではありますが、こちらも YMCA には欠かせない存在です。両者がどのように有機的に結びつくことができるかに、YMCA とワイズメンズクラブとのこれからが見えてくるような気がします。日和田のリーダートレーニングに合流して行われる5月第1例会のワークは、ユース世代に直に接することのできる貴重な機会です。一人でも多くの参加をお待ちしています！

連絡主事 坂本清則

そ の 他

1. 今月の誕生日

happy birthday

高田 士嗣 (3 日)

佐藤 恵子 (2 1 日)

congratulation!

3. 西日本区強調月間

5 月強調月間 L T

実務に主体性をおき、10年後の全事業に徹底する。出来る限り事業に反映させ、西日本区全体の発展に繋げる。

仁科保雄 理事

3. 例会等出席状況

No.	氏 名	4 ／ 2 第 一 例 会	4 ／ 22 第 二 例 会	4 ／ 23 -24 ク ラ ブ 交 流 会	4 ／ 12 メ ネ ッ ト 会	4 ／ 16 V N W 立 上 会	4 ／ 28 根 の 上 ま つ り
1	阿部 一雄						
2	荒川 恭次	○	○	○			
3	石原 邦利						
4	坂倉 洋	○	○	○	○	○	
5	坂口 功祐	○	○				○
6	佐藤 壽晃						
7	信田伊知郎						○
8	下村 明子	○					
9	高田 士嗣	○	○				
10	坂本 清則	○	○				○
11	奈良 昭彦						
12	服部 庄三	○	○		○	○	
13	早川 政人	○	○				
14	坂野 清治	○	○				
15	松原 誠	○					○
16	三井 秀和	○	○				
17	吉田 一誠						
	計	11	9	2	2	2	2

※紙面の都合により「老人ケニア紀行（第3回）」は次月とさせていただきます。

